

提出 順番	No. /	令和 4 年 6 月 2 日 (午前) 午後 10 時 45 分受領
----------	----------	---------------------------------------

令和 4 年 6 月 2 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 内山 美穂子



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
持続可能な地域農業の振興と給食での有機農産物の活用を	<p>2030年の達成を目標として国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）や環境を重視する国内外の動きが加速する中、農業分野では持続可能な食料システムの構築に向けて「みどりの食料システム戦略」が、昨年5月に策定されました。さらに同戦略を推進するため「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」（みどりの食料システム法）が本年5月2日に公布され、6か月以内に施行されます。</p> <p>戦略は2050年までの農業ビジョンであり、CO2排出実質ゼロや化学農薬や化学肥料の使用低減、有機農業の取組面積拡大など14の目標を掲げています。背景には、温暖化や大規模自然災害の増加、生産者の減少や高齢化による生産基盤の脆弱化や地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機としたサプライチェーンの混乱などがあります。生産力の向上とともに、地球環境に配慮した持続性の両立をイノベーションで実現していこうとするもので、これを受けて北海道も今年3月、「北海道有機農業推進計画」（第4期）を策定しました。その中で、自然循環機能を増大させ、環境負荷の低減にもつながる有機農業について取り組みの拡大を目指しています。</p>

幕別町においては本年度をゼロカーボン元年とし、実行計画策定への取組がスタートしました。農業分野の対応も不可欠です。町はこれまで、持続可能な農業を推進するため環境保全型農業やふるさと土づくりなどの支援に取り組んできましたが、更なる取り組みが求められています。そこで、戦略に関わる具体的な施策の一つとして、カーボンニュートラルの達成に資する有機農産物の公共調達を積極的に増やすことが挙げられます。昨今は食の市場も多様化しており、十勝でもと勝ちオーガニック振興会が設立、保護者たちもオーガニック給食の実現に向け活動しています。環境保全型農業への関心を高め、有機農産物の認知度向上や地域の生産者の取組を後押しする政策として、「オーガニック給食の日」を定めるなど、学校給食へのさらなる活用を実現させるべきと考えます。

SDGsの理念を踏まえ、将来を見据えた地域の活性化に向け、食料基地十勝の強みを生かしながら、環境に優しく持続可能な取り組みをより一層進めていくことが重要であることから以下について伺います。

- ① 環境保全型農業の取組実績と促進の考えは。
- ② 町内の有機農業の現状と今後の取り組みについて。
- ③ 農業政策として、学校給食で有機農産物のさらなる活用を。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。